



The more people walk, the better the path will be.

「実力診断系のテスト」後の中高生の「あるあるつぶやき」

『国語って点数取りにくいよね!』

『そうそう、国語って勉強の仕方がわからないよね』

『国語って、なんで授業ではわかるのに、テストではできないんだろう』

こんなつぶやき、言ったり聞いたりしたことはありませんか?

もう一つ、本当にあった国語の先生と生徒の会話です。



生徒 ☺ 「問題を解きました。

ちゃんと理解できていました」

先生 ☺ 「じゃあ、その後はどんなふうに何回ぐらい繰り返したの?」

生徒 ☺ 「理解できたんだから、もうやることないんじゃないですか?」

先生 ☺ 「実はね、【わかる】ことと【できる】ことは、同じではないんだよ。」

生徒 ☺ 「・・・???」



【わかる】と【できる】の間の隔たりは、学年が上がるほど広がっていきます。

★スポーツと一緒にです

たとえば水泳。「バタ足で前に進む」という基本的なことなら、本や動画を見て理解し、ビート板の助けを借りて、比較的すぐに【できる】ようになるでしょう。

しかし「平泳ぎ」となるとどうでしょう。本や動画を見て、泳ぎ方が【わかった】としても、それだけで「平泳ぎをマスターした!」とはなりません。実際にプールで何度も泳ぎ、うまくいかなかったところを直し、また泳ぐ。その【繰り返し練習】が必要です。まして「もっと速く泳ぐ」となれば、さらに練習が必要になります。



野球でも同じです。「ホームランを打つ方法」を本や動画で勉強して、「なるほど、わかった!」となったとしても、それだけで次の試合でホームランを打てるわけではありませんよね。

つまり、レベルが上がれば上がるほどに、【わかる】から【できる】までの距離は長くなります。そしてその距離を埋めるのが【繰り返し練習】です。

★これは勉強も同じです

数学や英語では、「一度理解できただけではテストで解けない。何度か問題を解いて練習をしよう」と考える人が多いでしょう。ところが国語になると、【読めた・わかった!→終了!】とか、【問題を解く→答え合わせする→「な〜んだ、これが正解か」→終了!】となってしまう人が意外に多いものです。これは、【わかった】ところで止まっているのです。大切なのは、その後です。「なぜ、この答えになるのか」「自分は、どこで考え違いをしたのか」「本文のどこを見ればよかったのか」「もう一度、自分一人で解けるのか」と、そこまで確認して、もう一度解いてみる。つまり、国語でも【わかる】から【できる】へ進むための【繰り返し練習】が必要なのです。

国語で「点数が取れない・勉強の仕方がわからない・授業ではわかるのに、テストになるとできない」と感じている人は、【わかる】ところで勉強を終えているのかもしれませんが。国語は「読めてしまう“日本語”」だからこそ、「読めた」だけで「わかった!」つもりになりやすい教科でもあります。この話については、またの機会に・・・。

これまで返ってきた「実力診断系」のテストも、点数だけを見て終わりにしないでください。間違えた問題こそ、【わかる】を【できる】に変えるための最高の練習材料です。「なぜ間違えた?」「どう考えればよかった?」「もう一度出たら、今度は自分一人で解ける?」二学期のスタートに、ぜひやってみてください。「全教科で」ですよ!

テストは「できなかったことを知らされるもの」なのではなくて、「これから何・どこをできるようにすればよいのか」といった“のびしろ”を教えてくれる“宝もの”なのです。 [文責:小島義和]



R8ふくい理数グランプリ本戦出場

チーム「オゾン」

細川陽生さん 堀田匠翔さん 横山太晟さん

9月の行事予定

- 1 火 気比校祭準備：リハーサル（終日）
- 2 水 気比校祭①：市民文化センター
- 3 木 気比校祭準備、敦賀神輿
- 4 金 気比校祭② 体育祭：総合運動公園体育館
- 5 土 気比校祭③：文化祭
- 7 月 5 日土の代休
- 8 火 1 限目：後片付け
- 9 水 1・2 年ベネッセ学力推移調査 1～4 限
- 11 金 カウンセリング予定日
後期生徒会役員選挙（LT）、
ワックスがけ（放課後）
- 12 土 休業日
- 18 金 後期ホーム役員選出（LT）、カウンセリング予定日
- 19 土 休業日
- 21 月 祝日：敬老の日
- 22 火 祝日：国民の休日
- 23 水 祝日：秋分の日
- 24 木 制服 夏・冬併用期間～10/9、45 分短縮授業
- 25 金 カウンセリング予定日
- 26 土 休業日
- 28 月 生徒議会（昼休み）
- 29 火 3 年保育園訪問学習（木崎保育園）
- 30 水 火災時の避難訓練（6 限）



暑さはまだまだ 続くようです

9月に入っても、まだまだ暑い日が続きます。
熱中症を防ぐためには、**こまめな水分補給**が大切です。

**水筒などの飲み物を忘れずに準備し、
十分な量を持って登校しましょう。**

「のどが渴いた」と感じる前に、
こまめに水分をとることを心がけてください。

熱中症予防のために、できることをしっかりと！

**こまめに水分補給**
のどが渴く前に、
少しずつ飲みましょう。

**暑さ対策グッズを
上手に活用**
帽子やタオルで、
暑さをやわらげましょう。

**服装を工夫しよう**
通気性のよい服で、
体温をこもらせないように。

**規則正しい生活を
心がけよう**
睡眠・食事をしっかりと、
体調を整えましょう。

★ 自分の体調を自分で守ることが、元気に学校生活を送る第一歩です。みんなで気をつけて、毎日を乗り切りましょう！ ★